

2008年4月19日(土)、日本外国特派員協会において、第23回トリアスIRフォーラムを開催いたしました。基調講演に、ドイツ証券株式会社 副会長兼CIOの武者陵司氏をお迎えし、「サブプライム後の経済と市場の展望」と題してご講演いただきました。会社説明には、株式会社アウトソーシング(以下 アウトソーシング)に御参加いただき、会社概要、今後の事業戦略等について、ご説明いただきました。

基調講演では、サブ・プライム問題の進展で、大不況の到来を危惧する悲観論すら台頭する金融市場において、強気の見方を崩さず、むしろ強めている武者氏に、サブ・プライム問題の背景にある市場構造や今後の市場展望等につき、考え方をご紹介いただきました。進行する金融市場の混乱は、偶然が複数重なり、その結果導かれた売りのスパイラルによるもので、グローバル経済の「黄金シナリオ」を崩すものではないとの見方をご説明いただきました。また、質疑応答では、アジア経済の中心に位置する日本の地政的優位性や中長期の潜在競争力について、議論が展開されました。

※ 基調講演、ならびに質疑応答の詳細は、Trias Blog (<http://122.212.232.242/wordpress/>) に掲載いたします。"Trias マクロ・ストラテジーメモ 08-04-19" をご参照ください。



IRフォーラム概要

基調講演:

「サブプライム後の経済と市場の展望」

ドイツ証券株式会社

副会長兼CIO

武者 陵司 氏

会社説明:

株式会社アウトソーシング (2427 JASDAQ)

代表取締役社長

土井 春彦 氏



基調講演に立たれる
武者陵司氏(左)

会社説明をされる
株式会社アウトソーシング
土井春彦代表取締役社長(中)

質疑応答で返答をされる
同 鈴木常務取締役(右)



会社説明セッションでは、アウトソーシング 土井社長より、同社の会社概要、生産アウトソーシング業界構造、ものづくり現場における生産アウトソーシング事業の概要等についてのご説明がありました。2004年3月より製造派遣が解禁になったことにより、市場環境が大きく変化した生産アウトソーシング事業ですが、業界の成り立ち、ワーキング・プアや格差等の社会問題を作り出した背景、そして今後の方向性について、ものづくり現場の実例を含め、詳しくご説明いただきました。

※ アウトソーシングの会社説明画像、ならびに質疑応答の詳細は、Trias Blog (<http://122.212.232.242/wordpress/>) に掲載のIRプレゼンテーション画像、ならびに "Trias 企業メモ【株式会社アウトソーシング (2427 JASDAQ)】 質疑応答サマリ 08-04-19" をご参照ください。

第23回トリアスIRフォーラム後記:

今回も熱心にご参加いただきました投資家の皆様、本当に有難うございました。

第22回に引き続き、サブプライム問題に起因する金融市場の混乱について、今後の展開を含め、考える機会となった当IRフォーラムでした。最も重要なメッセージは、“トレンドを見る”ということではなかったでしょうか？1つ1つの事象の裏側にある事実を検証し、それらをトレンドとしていかに理解し、投資行動につなげていくか～ 武者氏のご講演は、そのような考え方のヒントになったと思います。また、メーデーを直前にしたタイミングでの土井社長による会社説明でしたが、ものづくり現場で働く方々に負担を強いる事業モデルが普及した背景やその限界についてご説明は、日本のものづくり産業の今後について、社会が真剣に考えるべき時期に来ていることを痛感させるものでした。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見はフォーラム開催時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

本メモの著作権は、株式会社トリアスに帰属します。当メモの文章の全部または一部、画像や図表その他のデータなどを無断で転載、複製してご利用になられないようご注意ください。社内等でご利用になる場合なども株式会社トリアスまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。